

青森県肝炎総合対策の推進について

B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルス感染に起因する

青森県肝炎総合対策の目標①

目標（平成30年度から令和5年度の6年間）	
I	ウイルス性肝炎からの肝硬変又は肝がんへの移行者を減らす
II	フォローアップ体制整備済市町村割合100%
III	肝炎医療コーディネーター設置医療機関（拠点病院及び専門医療機関）割合100%

【目標Ⅰについて】

指標	出典	策定時	現状値 (全国)	進捗	進捗等を踏まえた対策
ウイルス性肝炎死亡率(人口10万対男女計)	人口動態統計	3.1 H28年	2.3 (1.6) R3年	改善	◎ 策定時と比較して改善傾向が認められる。 ◎ 現状値について全国平均と比較すると、「肝がん75歳未満年齢調整罹患率」は全国より低くなっているものの、ウイルス性肝炎や肝がんの死亡率は全国より高くなっている。 → 令和5年度は引き続き早期発見・早期治療・重症化予防につながる取組を推進していく。(R4までの実績はP4のとおり) ○ ウイルス検査の受診勧奨 ・ 指定医療機関及び保健所における無料検査 ・ 職域肝炎ウイルス検査 ○ ウイルス検査が陽性の場合 ・ 初回精密検査費用の助成 ・ 陽性者のフォローアップ ○ 経過観察を要する場合 ・ 定期検査費用の助成 ○ 肝炎医療費助成 ○ 肝がん・重度肝硬変医療費助成 ○ 関係機関向け講習会の開催 ○ 肝炎医療コーディネーターの養成
肝がん粗死亡率	人口動態統計	28.0 H28年	25.0 (19.6) R3年	改善	
肝がん75歳未満年齢調整死亡率	国立がん研究センター「がん登録・統計」	6.9 H28年	5.3 (3.7) R3年	改善	
肝がん75歳未満年齢調整罹患率	(策定時) 全国がん罹患モニタリング集計 (現状値) 全国がん登録 罹患数・率報告	16.0 H25年	11.3 (12.0) H31年	改善	
肝硬変死亡率	人口動態統計	8.0 H28年	8.6 (6.8) R3年	悪化	

B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルス感染に起因する 青森県肝炎総合対策の目標②

【目標Ⅱ、Ⅲについて】

目標		指標	出典	策定時		現状値		進捗	進捗等を踏まえた対策
Ⅱ	フォローアップ体制整備済市町村割合100%	—	がん・生活習慣病対策課調べ	67.5% (27/40)	H29年度	(現状値) 72.5%(29/40)	R3年度	改善	<p>◎ 改善しているものの目標の100%には至っていない。 → 改めてフォローアップ体制の実態の把握に努めるとともに、市町村に対して、フォローアップを行わないことにより重症化が進んだ際のデメリット(医療費(国保財源)の増加)を示しつつ、体制の整備を強く働きかけていく。</p> <p>※未整備市町村・・青森市、つがる市、蓬田村、鶴田町、野辺地町、東北町、七戸町、三戸町、田子町、新郷村、風間浦村</p>
Ⅲ	肝炎医療コーディネーター設置医療機関(拠点病院及び専門医療機関)割合100%	—	がん・生活習慣病対策課調べ	未設置	H29年度	100%	R3年度	目標達成	<p>→ 各医療機関における相談支援体制の更なる充実(コーディネーター数の増加)を促進する。</p> <p>○ 肝炎医療コーディネーター養成研修会の開催</p> <p>○ 拠点病院との連携により、各医療機関からの積極的な研修会参加に向けて働きかける。</p>

(※)フォローアップ体制の整備済市町村の考え方の変更点について

計画策定時は、対象者をリスト化し、継続的に受診勧奨等ができればフォローアップ体制が整備されているとしたが、国通知により「フォローアップ同意書」や受診状況を確認する「調査票」等の様式を定めていることが求められていることを踏まえて、R3年度から集計方法を(現状値)の方法に変更した。

青森県の肝炎対策(各種支援制度)の概要

◆肝炎ウイルス検査 (委託医療機関や保健所で実施、原則無料)		国庫補助メニュー
肝炎ウイルス検診、受診勧奨	市町村	健康増進事業
肝炎ウイルス検査、職域検査の啓発と検査への勧奨	保健所設置市・青森県	重症化予防推進事業
職域肝炎ウイルス検査費助成	青森県	(県単独事業)
◆重症化予防対策		国庫補助メニュー
陽性者・経過観察者へのフォローアップ (初回精密検査や定期検査の勧奨等)	市町村・保健所設置市 青森県	○市町村：健康増進事業 ○保健所設置市、都道府県 ：重症化予防推進事業
○検査結果が陽性の場合 初回精密検査費用の助成 (フォローアップ同意者で陽性判明から1年以内の受診対象。令和2年度に要綱改正し妊婦健診、術前検査での陽性者も対象に追加) ※所得制限なし	青森県	重症化予防推進事業
○経過観察を要する場合 (治療終了後を含む) 定期検査費用の助成 (フォローアップ同意者で医療費助成を受けていない者が対象。年2回、所得に応じて、無料or2,000円or3,000円/回。)		
◆肝炎医療費助成		国庫補助メニュー
IFNフリー治療 (C型肝炎)、核酸アナログ製剤治療 (B型肝炎)、IFN治療 (C型肝炎・B型肝炎) に係る医療費助成 (所得に応じ、自己負担限度額10,000円or20,000円/月)	青森県	肝炎治療特別促進事業
◆肝がん・重度肝硬変入院・通院医療費の助成		国庫補助メニュー
B型肝炎orC型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変に対して行われる入院・分子標的薬を用いた化学療法のための通院の医療費に係る助成 (年収370万円以下で過去1年で高額療養費3月目以降の者が対象。自己負担限度額10,000円/月)。令和3年度に要綱改正し、通院が追加となった。	青森県	肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

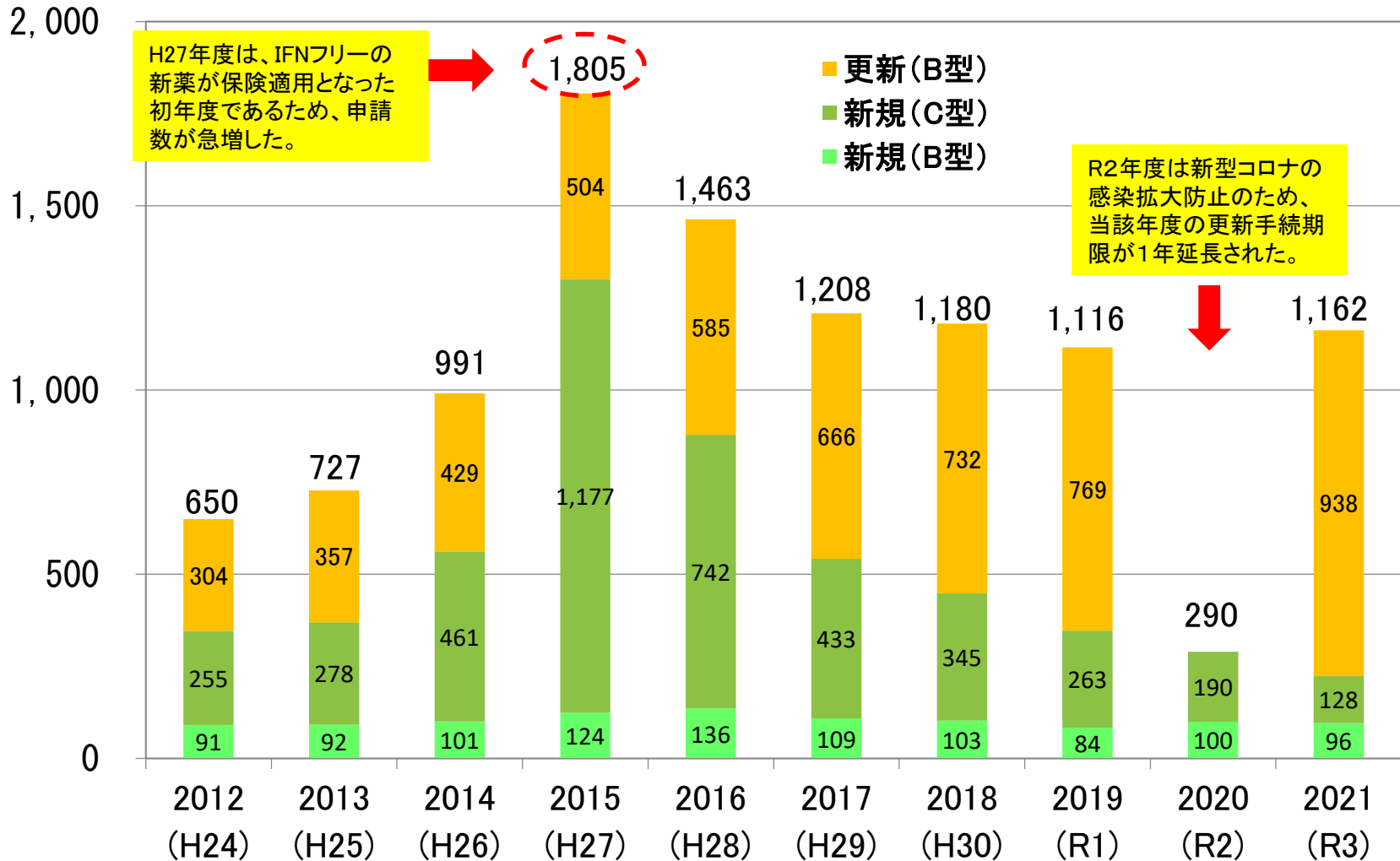
令和3年度・令和4年度の県の肝炎対策事業（①各種支援制度）

区分	項目	取組内容	R3実績	R4実績	昨年度 (R3) 実績 との比較	
早期発見・ 早期治療、 重症化予防	検査	肝炎ウイルス検査	指定医療機関及び保健所における無料検査	<ul style="list-style-type: none"> ■医療機関 566件 ■保健所 14件 【参考】・青森市保健所 1,625件 ・市町村健康増進事業 6,008件	(4~11月) <ul style="list-style-type: none"> ■医療機関 408件 ■保健所 6件 	昨年度並み
		職域肝炎ウイルス検査	協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査の受検者自己負担分を助成	1,444件	(4~11月) 1,000件	昨年度並み
	陽性者フォローアップ	肝炎ウイルス検査陽性者に対し、医療機関の受診状況や診療状況を確認するとともに、未受診の場合は、必要に応じて電話等により受診を勧奨	<ul style="list-style-type: none"> ■フォローアップ実施体制整備済市町村（現状値） 72.5%(29/40) （策定時の考え方による集計） 82.5%(33/40) 	<ul style="list-style-type: none"> ■フォローアップ実施体制整備済市町村（現状値） 72.5%(29/40) （策定時の考え方による集計） 82.5%(33/40) 	昨年度並み	
	精密検査	初回精密検査費用助成	自治体及び職域で実施する肝炎ウイルス検査による陽性判明者で、フォローアップに同意した者に対して、陽性判明から1年以内に初回の精密検査を受診した費用を助成 （助成：1回のみ）	27件	(4~12月) 15件	昨年度並み
	治療	肝炎治療医療費助成	IFNフリー治療、核酸アナログ製剤治療、IFN治療に係る医療費助成	（受給者証交付数） <ul style="list-style-type: none"> ■IFNフリー 128件 ■核酸アナログ製剤 新規 96件 更新 938件 計 1,162件 	（受給者証交付数4~12月） <ul style="list-style-type: none"> ■IFNフリー 93件 ■核酸アナログ製剤 新規 37件 更新 839件 計 994件 	昨年度並み
		肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業	肝がん・重度肝硬変に係る医療費助成 （件数は参加者証 認定数）	(新規認定) 11件	(4月~12月) (新規認定) 2件 【参考】累計：8人（死亡者等のぞく）(R5.1.31現在)	昨年度より 少なく推移
	経過観察	定期検査費用助成	肝炎ウイルス感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変及び肝がん患者（治療後の経過観察を含む）のうちフォローアップ同意者で肝炎治療医療費助成を受けていない者に対して、定期検査の費用を助成 （助成：年2回まで）	18件	(4~12月) 4件	昨年度より 少なく推移

令和3年度・令和4年度の県の肝炎対策事業 ①の参考1

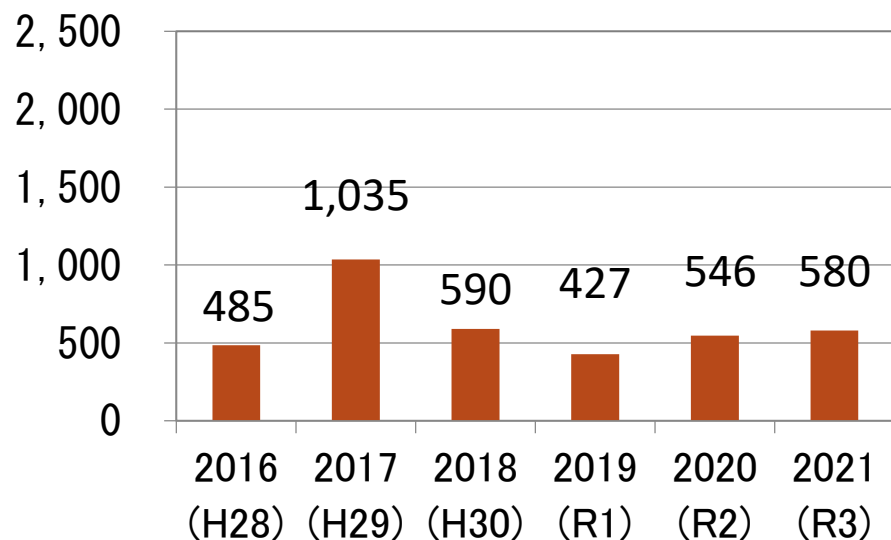
肝炎治療受給者認定数の推移 (H24~R3)

【単位:人】



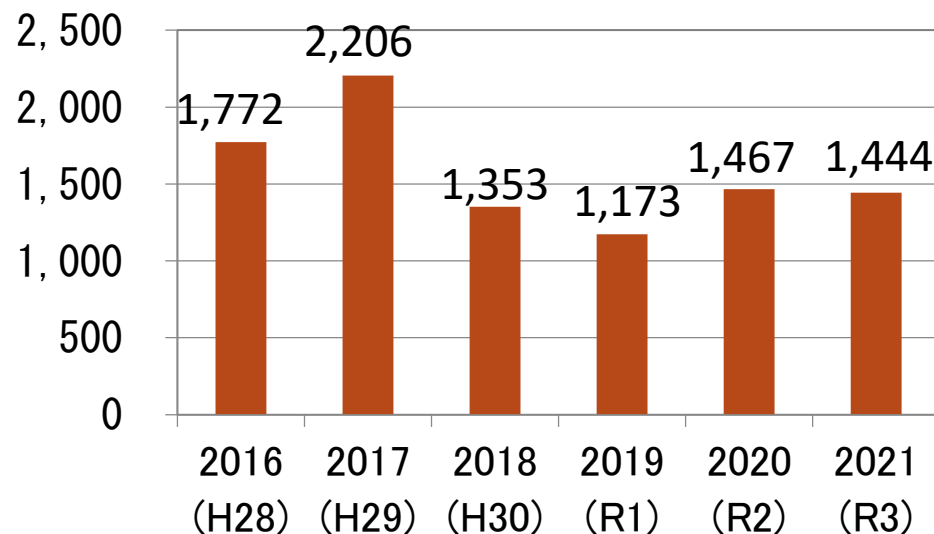
県が指定医療機関等に委託等している肝炎ウイルス検査数の推移

【単位：人】



職域肝炎ウイルス検査の費用助成数の推移

【単位：人】



上記の他、市町村が医療機関に委託して実施する検査、市町村が健康増進事業として実施する肝炎ウイルス検査、職域での検診、手術前検査、献血時の検査等において肝炎ウイルス検査が行われている。

医療機関の連携体制

- ・ 医療情報の提供
- ・ 都道府県内の専門医療機関等に関する情報の収集や提供
- ・ 医療従事者や地域住民を対象とした研修会・講演会の開催、相談支援
- ・ 専門医療機関等との協議の場の設定

肝疾患診療連携拠点病院

国立大学法人
弘前大学医学部附属病院

肝疾患に関する専門医療機関
(2次医療圏に1か所以上)

- ・ 専門的な知識を持つ医師による診断
- ・ IFNなどの抗ウイルス療法の適切な実施
- ・ 肝がんの高危険群の同定と早期診断の適切な実施

青森地域

青森市民病院
青森県立中央病院

津軽地域

国保黒石病院
弘前総合医療センター

八戸地域

八戸赤十字病院
八戸市立市民病院

西北五
地 域

つがる総合病院
つがる西北五広域連合

上十三
地 域

三沢市立三沢病院
十和田市立中央病院

下北
地 域

むつ総合病院

※弘前総合医療センターを令和4年10月21日に指定

かかりつけ医

令和3年度・令和4年度の県の肝炎対策事業 ①の参考4

令和4年度肝炎関係制度の改正等について

青森県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の実務上の取扱い

○粒子線治療が対象に追加

- ▶大型の肝細胞がん等に対する粒子線治療が保険適用となったことから、本事業の対象医療に粒子線治療が追加された。
- ▶R4.4.1 適用

※実績なし(R5.1.31現在)

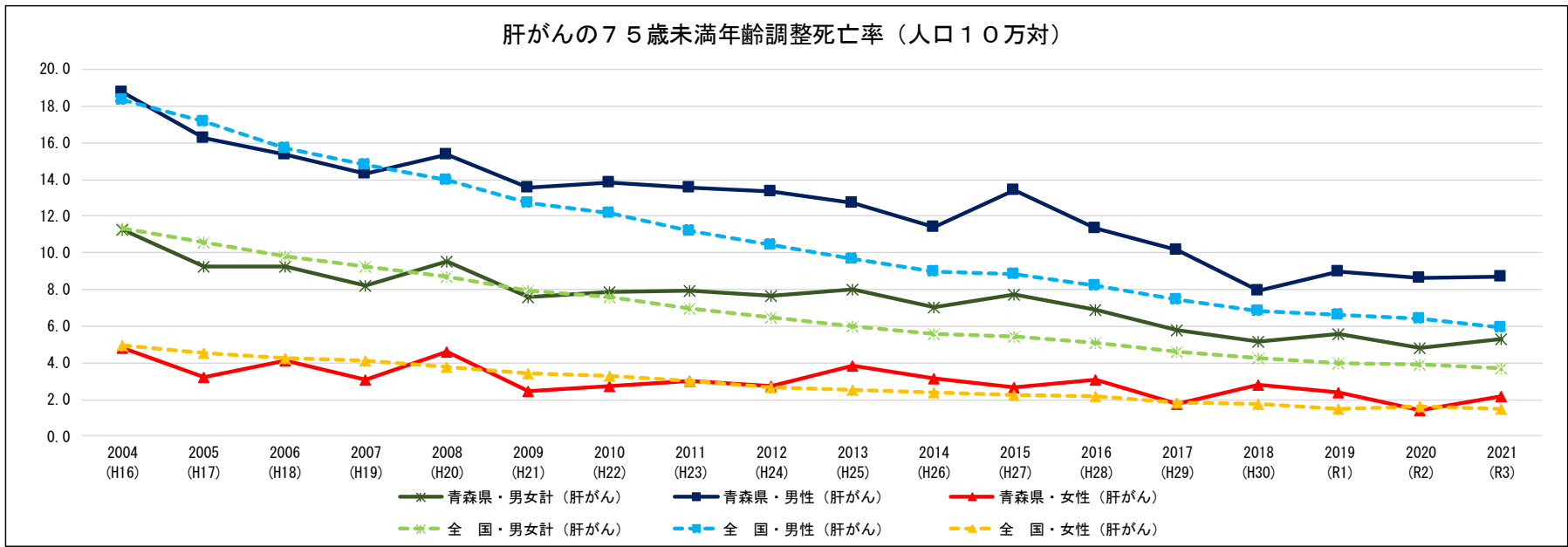
令和3年度・令和4年度の県の肝炎対策事業（②普及啓発）

区分	項目	取組内容	R3実績	R4実績
普及啓発	県民公開講座	ウイルス性肝炎の正しい知識、最新の治療方法を県民に情報提供	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
	県の広報媒体	ラジオ (肝炎ウイルス検査受検勧奨)	RAB「県広報タイム」 R3. 7月第3週放送 月～木 7:30～7:35 『肝炎ウイルス検査の早期受診』	RAB「県広報タイム」 R4. 8月第3週放送 月～木 7:30～7:35 『肝炎ウイルス検査の早期受診』
			FM青森「あおもり・ふあん」 R3. 7. 19 (月) 16:55～17:00 『肝炎ウイルス検査の早期受診』	FM青森「あおもり・ふあん」 R4. 7. 19 (火) 16:55～17:00 『肝炎ウイルス検査の早期受診』
		県庁ホームページ (検査、各種医療費助成制度周知)	随時更新	随時更新
資材作成	検査結果記録カード	13,000枚を16医療機関、6市町村に配布	5,800枚を6医療機関、4市町村に配布 (R4. 12末現在)	

令和3年度・令和4年度の県の肝炎対策事業（③関係機関との連携）

区分	項目	取組内容	R3実績	R4実績
関係機関との連携	(市町村) 研修会	市町村担当者等に対し、肝炎の基礎知識、県の事業紹介等を行い、肝炎対策を強化（H29年度からは医療機関まで参集範囲を拡大。H30年度から肝炎医療コーディネーター養成研修を兼ねている。）	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	肝炎医療コーディネーター研修会として動画配信による開催を予定（期間を設けて配信）
	肝炎対策協議会	青森県における肝炎対策の総合的な推進に関する事項を協議	<ul style="list-style-type: none"> ■日時：R4. 2. 18 ■会場：書面開催 ■議題 ①令和2年度・令和3年度事業実施状況について ②肝炎ウイルス結果説明アンケート調査について 	<ul style="list-style-type: none"> ■日時：R5. 2. 6 ■会場：オンライン開催 ■議題 ①青森県肝炎総合対策の推進について ②青森県肝炎総合対策の改定について
	(医療機関) 拠点病院連絡協議会	拠点病院・専門医療機関を参集し、肝疾患診療体制等について協議	<ul style="list-style-type: none"> ■日時：R4. 2. 2 ■会場：書面開催 ■議題 ①県からの説明 ②拠点病院からの情報提供 ③意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ■日時：R5. 2. 6 ■会場：オンライン開催 ■議題 ①県からの説明 ②拠点病院からの情報提供 ③意見交換

肝がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）



区分	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
青森県・男女計（肝がん）	11.2	9.3	9.3	8.2	9.6	7.6	7.9	7.9	7.6	8.0	7.0	7.7	6.9	5.8	5.2	5.6	4.8	5.3
全 国・男女計（肝がん）	11.3	10.6	9.8	9.3	8.7	7.9	7.6	7.0	6.4	6.0	5.6	5.4	5.1	4.6	4.2	4.0	3.9	3.7
[青森県順位（男女計）]	25位	15位	20位	17位	36位	18位	30位	36位	36位	44位	39位	47位	45位	41位	39位	46位	42位	47位
青森県・男性（肝がん）	18.8	16.3	15.3	14.3	15.3	13.6	13.9	13.6	13.4	12.7	11.4	13.4	11.3	10.2	7.9	9.0	8.6	8.7
全 国・男性（肝がん）	18.3	17.1	15.7	14.8	13.9	12.7	12.1	11.2	10.5	9.7	9.0	8.8	8.2	7.5	6.8	6.6	6.4	5.9
[青森県順位（男性）]	26位	23位	23位	21位	34位	26位	35位	40位	38位	40位	37位	46位	45位	43位	31位	45位	45位	47位
青森県・女性（肝がん）	4.8	3.2	4.1	3.1	4.6	2.5	2.7	3.0	2.7	3.8	3.2	2.7	3.1	1.8	2.8	2.4	1.4	2.2
全 国・女性（肝がん）	4.9	4.5	4.3	4.1	3.8	3.4	3.3	3.0	2.7	2.5	2.4	2.2	2.2	1.8	1.8	1.5	1.6	1.5
[青森県順位（女性）]	25位	6位	25位	7位	36位	6位	11位	28位	26位	46位	38位	34位	44位	20位	47位	44位	13位	44位

男女計の全国と青森県との差 -0.1 pt -1.3 pt -0.5 pt -1.0 pt 0.9 pt -0.3 pt 0.3 pt 1.0 pt 1.2 pt 2.0 pt 1.4 pt 2.3 pt 1.8 pt 1.2 pt 1.0 pt 1.6 pt 0.9 pt 1.6 pt

（出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」）

B型肝炎ワクチンの定期接種について

1 接種方法等

- ・生後1歳に至るまでに3回接種する。
- ・実施主体は各市町村。指定医療機関において接種する。

2 県内の接種者数

【令和2年度 地域保健・健康増進事業報告(地域保健編)による】

- ・1回目・・・6,887名(個別6,860名＋集団27名)
- ・2回目・・・6,930名(個別6,903名＋集団27名)
- ・3回目・・・6,926名(個別6,888名＋集団38名)

(参考)令和2年人口動態統計における青森県の出生数は6,837人